

～知っていますか？高速道路ご利用の際の心得～

故障トラブルの件数が多く発生しています！

車両の点検(オイル・タイヤ・冷却水等)を確実に行いましょう。

積荷の落下等による落下物に注意しましょう！

出発前や高速道路走行前には必ず積荷の点検をお願いします。

※「故障車・事故・落下物あり」の表示を見たら、速度を落とし注意して走行しましょう。



後部座席でもシートベルトを着用しましょう！

高速道路等の死亡事故で後部座席同乗者の死亡者のうち約7割がシートベルト非着用。全席着用義務となっていますので、後部座席同乗者も必ずシートベルトを着用しましょう！



チャイルドシートも忘れずに！

走行車線を走行し、安全速度を守りましょう！

追越しが終了したらその都度走行車線に戻り、安全速度と車間距離を確認することが大切です。

追越車線ばかり走行していると道路交通法違反になる場合があります、速度超過や車間距離不保持になりやすく、目の前の危険に素早く対応できません。

※いつもと違う速度規制がされている場合は、近くに異状があると考え注意しましょう。情報板やハイウェイラジオで情報を収集し、進路前方の危険をいち早く察知することが大切です。

渋滞末尾の追突事故に注意しましょう！

交通量が多い場合や事故等により渋滞が発生します。十分な車間距離をとり、前方の状況に注意して走行しましょう。また、渋滞を発見し低速走行や停止する場合は、ハザードランプを点灯し後続車に合図しましょう。

給油やトイレはお早めに！ 適度な休憩をとって安全運転を！

居眠り運転や漫然運転は重大な事故につながります。休憩施設で早めの休息、早めの給油を心がけましょう。

高速道路は一般道とは違います。 走行する際には、十分な事前準備と適度な緊張感が必要です。

～ルールとマナーを守り快適なドライブを！～



イライラ運転は思わぬ大事故に…
ゆとりをもったドライブ計画を！



自分の車のサイズに合った
駐車マスのに停めましょう！



路肩は緊急車両のために
空けておきましょう！



追越し後は後方確認をおこない、
走行車線に戻りましょう！



障がいをお持ちの方や妊婦さんのためのスペースです。
本当に必要な方のために空けておきましょう。



マナーアップキャラクター
「マナーティ」

～家族みんなで 無くそう逆走～



高速道路での逆走は、第三者を巻き込んだ悲惨な事故に繋がりがねません。しかし、高速道路での逆走は2日に1回以上の割合で発生しています。その66%が65歳以上のドライバーによるものです。*

そこで、NEXCO東日本では、ドライバーご本人だけでなく、そのご家族にも逆走防止のためのアクションを呼びかける「家族みんなで 無くそう逆走」プロジェクトを実施しています。

高齢ドライバーが逆走を含む交通違反や交通事故を起こしやすくなる原因として挙げられるのが『注意力の低下』です。ただし、高齢ドライバー本人が『注意力の低下』を自覚していない場合もあります。運転を見ていないのに、高齢ドライバーに対して、年齢だけを理由に「最近、運転が危ない」などと伝えても、本人に自覚症状がない中では、納得感がないものです。

そこで、ゴールデンウィークに帰省される方は、ぜひこの機会にご家族の高齢ドライバーが運転する車に同乗してみてください。その際、以下の「**運転ここに注目リスト**」を参考にしながら、ドライバーの実際の運転について、今までの運転と違うところがないか、どこが危ないかを具体的に話し合しましょう。

詳しくは、NEXCO東日本のHPをご確認ください。

https://www.e-nexco.co.jp/family_nakusogyakuso

【運転ここに注目リスト】

～高齢ドライバーの運転する車にご同乗の上、注目してみてください～

1. 運転操作はバッチリ？

- ・急ブレーキや急発進が増えた
- ・駐車場などでのバック運転に手間取る

2. 車体や車幅の感覚はOK？

- ・車間距離を一定に保てない
- ・車体をこすることが増えた

3. 道や行き先の間違いはない？

- ・通い慣れた道順を忘れたり、間違えたりする
- ・行き先を途中で忘れてしまう

4. 状況確認、十分できてる？

- ・交差点で歩行者や自転車に気づくのが遅れる
- ・合流が苦手になった

5. 注意力が散漫になってない？

- ・信号を見誤ったり、標識を見落とししたりする
- ・子どもなどが飛び出す可能性を予測できない



*本リストは診断基準ではなく、注目いただきたいポイントをまとめたものです。逆走を起こさないことを保証するものではありません。

※：平成23年～29年の高速道路(国土交通省及び高速道路会社管理)における事故または確保に至った逆走事案

高速道路上で「人」がはねられる事故が多発しています。

高速道路における緊急時の対処法

もし、事故・故障が発生したら・・・



事故や故障でやむを得ず停車した場合、高速道路上をむやみに歩き回らないでください。高速道路は一般道とは違います！同じ感覚での行動は絶対におやめください。



後続車の運転手が気づいているとは限りません。ハザードランプ・発炎筒・停止表示器材で後続車に対する安全措置をとってください。



運転手も同乗者も全員、通行車両に注意しながらガードレールの外など、避難できる場所かどうか確認のうえ、安全な場所に避難してください。移動の際は、足元にも十分注意してください。車内や車の前後での待機はとても危険です！後続車に追突され、命を落とす事故も発生しています。



110番・非常電話・道路緊急ダイヤル（#9910）で状況を通報してください。



NEXCO東日本
マーキングキャラクター
マフーディ

非常電話とは・・・

- どこにあるの？
非常電話は、本線内(1kmおき)、トンネル内(200mおき)、インターチェンジ、SA、PA、バスストップ、非常駐車帯に設置されています。
- どんな時に使うの？
事故・故障などの非常事態発生時に使用してください。
- どこにつながるの？
受話器を取るだけでNEXCOの道路管制センターにつながります。事故や故障の状況・負傷者の有無などを伝えてください。

会話の不自由な方がお使いになるには

故障・事故・救急・火災の状況を表示したボタンが設置されている非常電話では、あてはまるボタンを押してください。

※ボタンがないタイプでも受話器を上げただけでおよその位置がわかりますのでご安心ください。会話などが困難な場合は、受話器を叩くなどの合図で緊急事態の発生をお知らせください。



道路緊急ダイヤルとは・・・

- どんな時に使うの？
落下物・人や自転車等の立ち入り・路肩の崩壊・路面の穴ぼこなど、車両の通行に支障となる道路の異状、緊急事態を発見した時に使用します。



全国の高速道路・国土交通省が管理する国道が対象。24時間、無料で利用できます。自動音声ガイダンスにしたがって道路名を選択してください。

道路交通法により運転中の携帯電話等の使用は禁止されています。携帯電話等による通報は必ず同乗者の方からかけていただくか、休憩施設など安全な場所に移動・停車しておかけください。高速道路は事故・故障でやむを得ず走行ができなくなった場合しか駐車できません。

携帯電話
スマートフォン
固定電話(NTT)
などから
#9910
をダイヤル

◆万一のために今一度ご確認ください◆



発炎筒はおもに助手席の足元付近にあります。緊急時にそなえ、一度手にとってご確認ください。